

	コーチ	保護者	スクール生
自宅	<p>①検温（前日夜、当日朝）→健康管理表（チーフコーチor担当コーチにより、練習開始時に健康チェックならびに感染等が疑われる事象が発生した際は、遑って参加者の検温状況、体調の情報を収集できるようにしておく） ※ご自宅での検温等実施の励行と体調が思わしくない場合またはご家族内で体調が思わしくない方がいる場合は、練習への参加を見合わせることをご考慮して下さい。</p> <p>②練習参加可否の体温の基準→37.5度を基準/体調が悪いときは無理せずに休む</p> <p>③健康状態が悪い場合→チーフコーチへの連絡（感染陽性が判明した場合、再度連絡の徹底） →（練習参加数日後であっても感染等が疑われる場合は、チーフコーチに一報ください）</p> <p>④練習如何にかかわりなく、通っている小学校、幼稚園で感染症発症の情報があれば、チーフコーチに共有をお願いいたします。 ※発症者：発症日から起算して10日経過 かつ 解熱、症状消失から 3日経過を目途に参加可とします。 ※濃厚接触者：前回練習日から起算して 10 日後目途に参加可とします。</p>		
練習前	<p>⑤ワールドラグビー「COVID19感染予防対策講座」の受講する</p> <p>⑥各学年のコーチ1名は「誘導担当」として、グラウンド入場時に「密にならないように」整列誘導を指導、担当する</p>	<p>⑦原則、自動車送迎の相乗りをしない。レベル5以上では相乗りする保護者間の合意を前提とし、相乗りを依頼する保護者よりチーフコーチ宛に要連絡。公共交通機関は感染予防を徹底して利用</p> <p>⑧原則、保護者同伴での練習参加。事前に保護者からチーフコーチ宛に連絡することで、「スクール生のみでの参加」を可とする。</p> <p>⑨アルコール消毒、検温作業、出席簿の記入等のお手伝いを保護者3名程度お願いする</p> <p>⑩保護者/付添人は、感染予防の為、可能な限り少人数とする。追加の同行者がある場合は、他の観戦者・スクール生との接触がないように各保護者が管理を徹底する。</p>	<p>⑪持ち物（マスク、飲み物、ビニール袋、タオル、ティッシュ、ラグビー用具、ラグビーボール、キャップ・帽子など）※当面接触練習がない場合はヘッドキャップを使わないこともある、ボールがある人は持つてくる</p>
			⑫グラウンド入場時に出席簿の記入・検温・アルコール消毒を徹底する。（スクール生はこの時点までマスク着用）
練習中	<p>⑬コーチのマスク着用は任意（熱中症予防の観点から）。但し、不必要に大声での指導はしない。ホイッスルは可能な限り「電子ホイッスル」を使用する。</p> <p>⑭担当コーチは練習メニューを遂行、その他のコーチはスクール生が密にならないように目を配る</p> <p>⑮気分が悪くなった子どもへの対応 →感染症ばかりでなく、熱中症に関する対応も視野に入れる（保護者お手伝いと協働作業）</p>	<p>⑯グラウンド内で観戦時もSD（ソーシャル・ディスタンス）体制/マスク着用</p> <p>⑰保護者お手伝い各学年3名程度→お手伝いの内容（以下参照）</p> <p>a. スクール生のトイレ付添、トイレ後の手指消毒 b. 体調不良のスクール生のお世話(熱中症等を含む) c. 練習終了時のごみ等の収拾 d. 練習に参加した保護者、付添の参加者氏名の記録</p>	<p>⑱練習中はコーチの指導に従う 大声を出さない、友達に触らない、一定の距離を保つように努める、練習時もマスク着用を推奨とする</p> <p>⑲集合時は、SD（ソーシャル・ディスタンス）基本体形（両手を挙げてぶつからない等距離体形）</p> <p>⑳体調・気分が悪くなったらコーチに声をかける</p> <p>㉑トイレに行く場合は保護者とともに一人ずつ→トイレ後は手洗い・手指消毒の徹底</p>
練習後	<p>⑳練習後の「手洗い」と「消毒」の徹底する。 →「手洗い」、「消毒」が済んだ後は速やかにマスクを着用する。 →帰宅後は、手洗い、顔洗い、うがい、アルコール消毒/励行、ボール等ラグビー用具の消毒</p>		
	<p>㉓グラウンド内外での役割分担（駐車場・出入口確認/入退場時のアルコール消毒、利用器具の消毒を確認）徹底</p> <p>㉔出入口での往来が密にならないように指導</p>		